

第13回 緩和ケア市民公開講座 庄内プロジェクト ～地域で支えるがん緩和ケア～ 元ちゃんハウスでの出会い ～この地でがんとむきあう～

日 時：令和元年11月23日（土）13：30～15：50 開場13：00

場 所：三川町 いろり火の里 なの花ホール

緩和ケア「庄内プロジェクトについて」

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川 センター長 鈴木 聡

講 演「元ちゃんハウスでの出会い ～この地でがんとむきあう～」

講 師：NPO法人がんとむきあう会理事長 西村 詠子氏

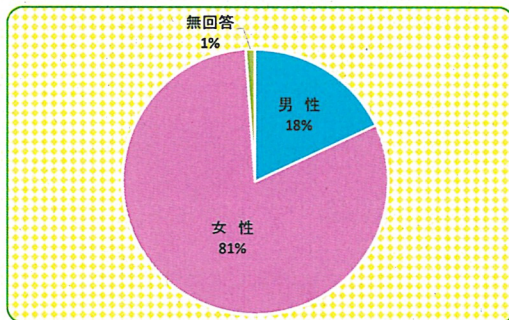
参加者数：205名 アンケート協力者：172名（83.9%） スタッフ16名



1. あなたご自身について

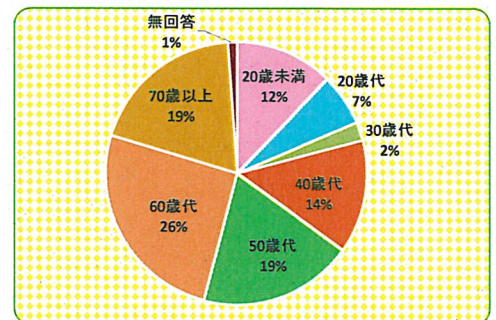
1-（1）性 別

男 性	31
女 性	139
無回答	2



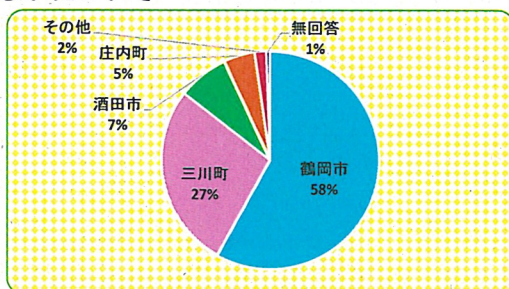
1-（2）年 代

20歳未満	21
20歳代	11
30歳代	4
40歳代	24
50歳代	33
60歳代	44
70歳以上	33
無回答	2



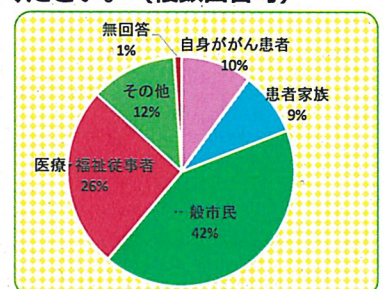
2. あなたのお住まいについて

鶴岡市	100
三川町	47
酒田市	13
庄内町	8
その他	3
無回答	1



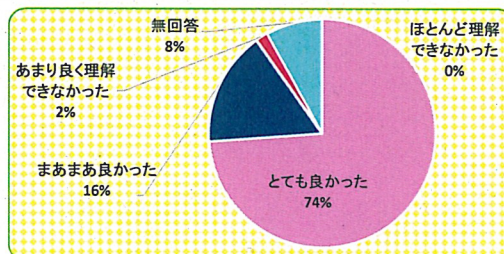
3. あなたのお立場を教えてください。（複数回答可）

ご自身が、がん患者	19
患者家族として	17
一般市民として	79
医療・福祉従事者として	48
その他	23
無回答	2



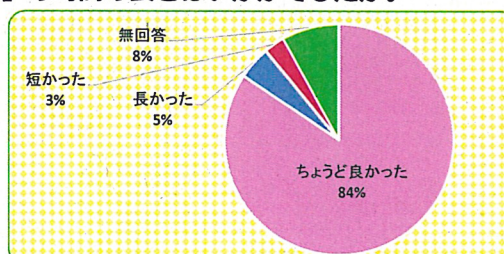
4. 緩和ケア「庄内プロジェクトについて」の内容はいかがでしたか。

とても良かった	127
まあまあ良かった	28
あまり良く理解できなかった	3
ほとんど理解できなかった	0
無回答	14



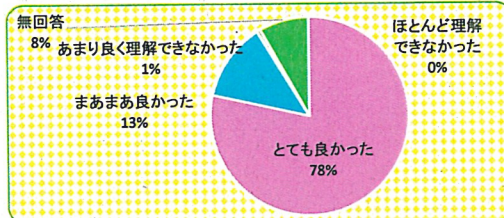
5. 緩和ケア「庄内プロジェクトについて」の時間の長さはいかがでしたか。

ちょうど良かった	145
長かった	8
短かった	5
無回答	14



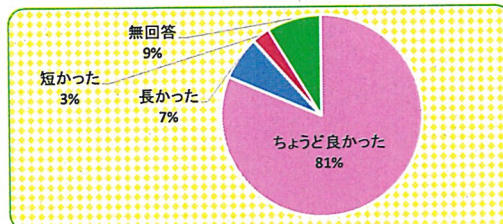
6. 講演「元ちゃんハウスでの出会い ～この地でがんとむきあう～」の内容はいかがでしたか。

とても良かった	135
まあまあ良かった	22
あまり良く理解できなかった	1
ほとんど理解できなかった	0
無回答	14



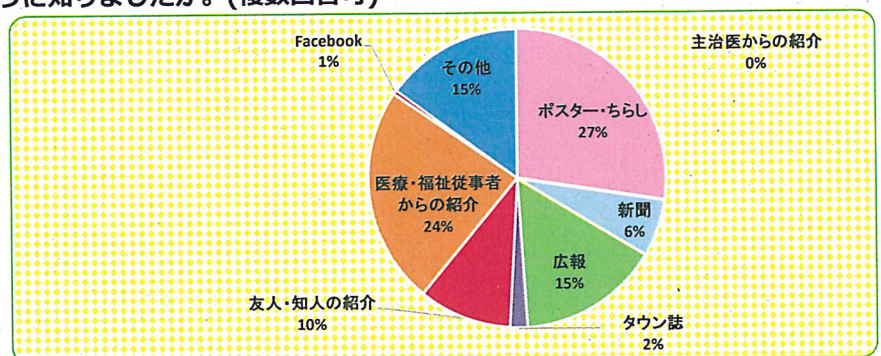
7. 講演「元ちゃんハウスでの出会い ～この地でがんとむきあう～」の時間の長さはいかがでしたか。

ちょうど良かった	140
長かった	12
短かった	5
無回答	15



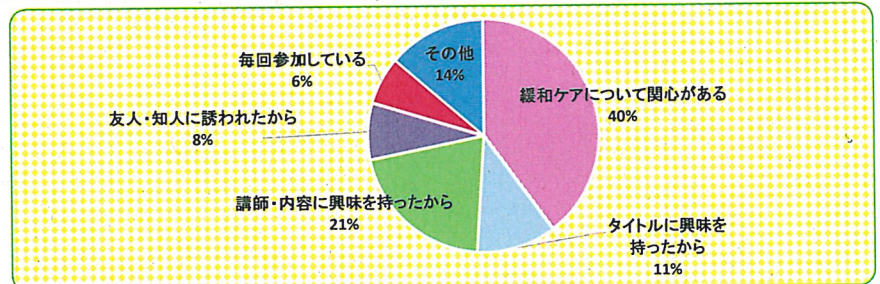
8. 今回の「緩和ケア市民公開講座」をどのように知りましたか。(複数回答可)

ポスター・チラシ (診療所・薬局・スーパー)	57
新聞 (荘内日報・敬天愛人・山形新聞)	13
広報 (つるおか・みかわ)	32
タウン紙 (いーたんず)	4
友人・知人からの紹介	21
医療・福祉従事者からの紹介	49
主治医からの紹介	0
Facebook	1
その他	31



9. 今回の「緩和ケア市民公開講座」に参加しようと思ったきっかけはなんですか。(複数回答可)

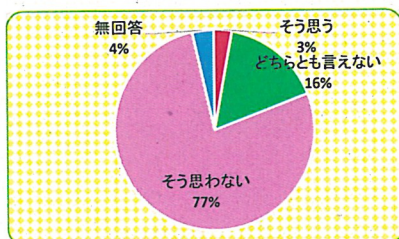
緩和ケアについて関心があるから	96
タイトルに興味を持ったから	27
講師・内容に興味を持ったから	50
友人・知人に誘われたから	19
毎回参加しているから	16
その他	33



10. 緩和ケアや在宅医療について、あなたのイメージについてお伺いします。

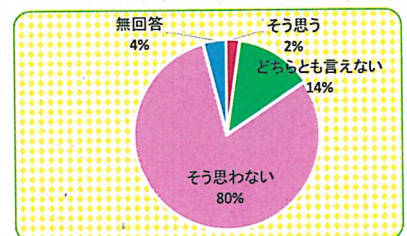
10-① がんになっても病名を告知されたくない

そう思う	5
どちらとも言えない	28
そう思わない	133
無回答	6



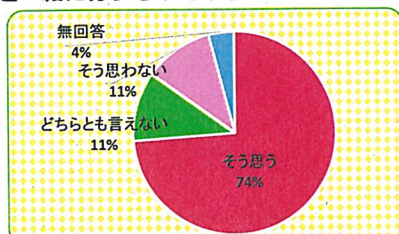
10-② 緩和ケアとは、末期の患者さんだけが受ける医療・ケアである

そう思う	4
どちらとも言えない	23
そう思わない	138
無回答	7



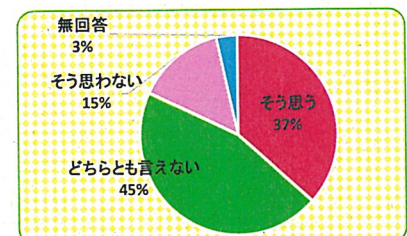
10-③ 緩和ケアとは、化学療法や放射線治療など、がんに対する治療と一緒にやるものである

そう思う	127
どちらとも言えない	19
そう思わない	19
無回答	7



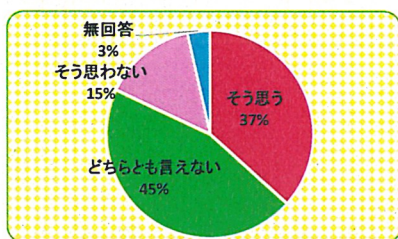
10-④ 医療用麻薬を使用すると中毒になる

そう思う	63
どちらとも言えない	78
そう思わない	25
無回答	6



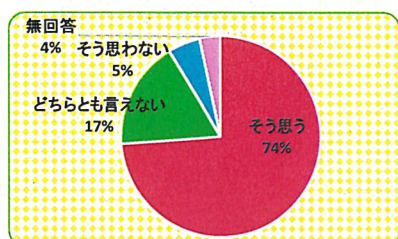
10-⑤ あなたががんだったら、亡くなる最期は自宅で
過ごしたいと思いますか

そう思う	63
どちらとも言えない	78
そう思わない	25
無回答	6



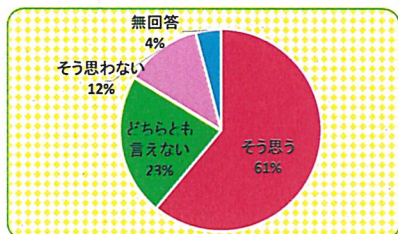
10-⑥ 自宅で療養することは、介護してくれる家族に
負担が大きい

そう思う	127
どちらとも言えない	30
そう思わない	9
無回答	6



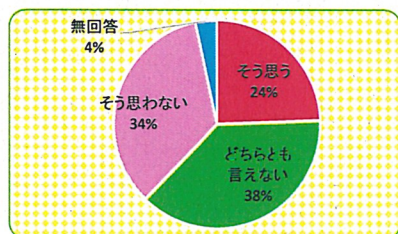
10-⑦ 自宅では、症状が急に悪くなったときの対応が不安であ

そう思う	105
どちらとも言えない	39
そう思わない	21
無回答	7



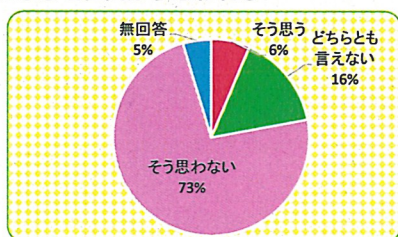
10-⑧ 自宅では、十分に苦痛をやわらげることができない

そう思う	42
どちらとも言えない	65
そう思わない	59
無回答	6



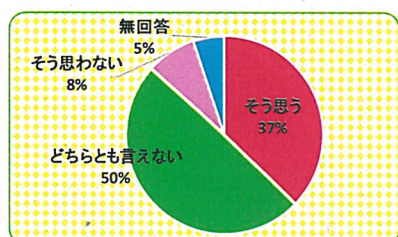
10-⑨ 自宅で最期を看取ることは、家族が患者に十分な医療を
与えていないことになると世間から思われる

そう思う	11
どちらとも言えない	27
そう思わない	126
無回答	8



10-⑩ この地域では、がんになっても安心して過ごせると思う

そう思う	64
どちらとも言えない	85
そう思わない	14
無回答	9



令和元年度11月23日開催の緩和ケア市民公開講座についてのご意見、ご感想

- * 自分の周りにがん患者がいないので、あまりピンとこないところがあった。東高校すばらしかった。元気がもらえた。(60代 女性)
- * “がん”と向き合う気持ちと今後の有り方、今一度考え方を改めたいと思いました。とても良い時間をありがとうございました。(60代 女性)
- * だれにでも身近な問題であるガンをテーマに、たいへん良い話を聞くことが出来ました。(50代 女性)
- * マギーズ東京の秋山先生の話もお聞きしており、金沢にもあり、すごくうらやましく思いました。(50代 女性)
- * 胃がんは治らないとはじめて知りました。元ちゃんハウスができるまでのプロセスより、どのような活動を行っているかの内容を多く知りたいと思いました。利用者の声とか知りたかった。(50代 女性)
- * がんの痛みは本人に限らず、家族皆が精神的に辛かった。みとりのあとも立ち直れない。立ち直ろうとは頑張っているけど、まだまだな状況。時間がたてば気持ちが癒えるのでしょうか。心配してくれる友人、家族はいてくれて支えてくれるけど、自分が軟弱すぎるのでしょうか。(つぶやき) (50代 女性)
- * 緩和ケアの市民公開講座に初めて参加しました。勉強になりました。ありがとうございました。(40代 女性)
- * とても自分のためになりました。ありがとうございました。(20歳未満 女性)
- * すごく自分のためになりました。今後に役立てたい。ありがとうございました。(20歳未満 女性)
- * 鶴東のみなさん、素敵な演奏ありがとうございました。
本日の講演内容、西村先生のメッセージを家で考えたいと思います。(40代 女性)
- * 昨年からの高校生のオープニング、とても良いです。
“やるか” “やらない”かの二択、心にとどめていきたいです。(30代 女性)
- * 鶴岡市にも「元ちゃんハウス」の様な交流の場がもっとあれば素晴らしいと思います。
皆川市長に聴いていただきたかったです。(40代 男性)
- * 東高校吹奏楽部の演奏、良かったです。演奏で心が柔らかくなったところで、ステキな話がスーッとしみて、今日は良かったです。元ちゃんハウス、見学したいです。南庄内にも是非作ってください。(50代 女性)

- * 私はまだ高校生で、誰かの死を身近に感じたことがありません。そんな中でも“がん”の勉強が出来たことは必ず将来役に立つと思いました。がんの進行具合によってはとても短い寿命でも、過ごし方によって最期の人生の満足度は大幅に変わってくるのだなと思います。
自分自身や身近な人物ががんになった際、どう向き合っていくべきか、これからも考えて生きていきたいです。
(20歳未満 男性)
- * 在宅介護とこの地域で十分な緩和が出来るのかすごく不安なので、その連携が出来たらと、だんだん時代と共に医療関係も進歩している感じでとても嬉しく思われました。資料もわかりやすく、とても良かったです。三川にも元ちゃんハウス欲しいです。(70歳以上 女性)
- * 余命宣告されて、治療を断って亡くなった主人を思い出し、つらかった。それだけが悔いに残ります。
(70歳以上 女性)
- * 鶴岡にも「元ちゃんハウス」のようなところがほしいです。(50代 女性)
- * 元ちゃんハウスの様な居場所、鶴岡マギーズもできる事を希望します。(50代 女性)
- * 鶴岡東吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。日頃の疲れた心身をとてもしやされました。
以前、NHKで元ちゃんハウスの事を知り、げんき館で西村先生のお話を聞く機会がありました。私も癌患者経験者の一人として自分の体験など伝えていけたらいいなと思いながらいます。一人でなやまず、がんばりすぎず生活していこうと思います。(年齢無回答 女性)
- * 夫がステージ4の進行胃癌、リンパ転移の告知を受けた時のショック!!辛く、悲しく、これから先どうなって悪くなって死んでしまうのだろうという不安!!日々の病状に一喜一憂のより添う家族の辛さと涙!!元ちゃんハウスに行きたいと思いました。(60代 女性)
- * 東高校の演奏、前から一度聞いてみたいと思っていた。地元の高校生のエネルギーを感じ、たのもしかったです。西村先生の話は、今までの経過、ご苦労、裏話を伺って、さすが西村元一先生だなあと感動しました。予約なしがいい!!「解決できないかもしれないが、答えはその人の中にある」が印象。(60代 女性)
- * 自分自身が、がん告知され、健康な時は分らない事を知る機会をいただき視野が広がりました。不安も(再発など、進行ガンなので)たくさんあるけど、前向きに生活できる事に感謝してます。一人での参加でしたが、来て良かったと思います。地域でボランティア活動もしている為、たくさんの方々とのかわりも、今の私には活力になってます。今日はありがとうございました。(60代 女性)
- * 鶴岡東高等学校吹奏楽部、とても良かったです。
講演は、すごい体験だったのに、話しをすることが強いと思います。(60代 女性)
- * 正面に向かって左側のスクリーンがよく見えにくかった。(50代 女性)
- * 逃げない、看取ろうという覚悟をもてるように生きていきたい。他の人のそれを支えられる場が鶴岡市にもあるといいな一と思えましたし、自分もそのお役に立てるようになりたいと思いました。
病んでも頑張ったことを認めてもらいたい、病んでも頑張っている人を応援したいと思える今日の講演でした。
ありがとうございました。(60代 女性)
- * 「死」はだれにもくる自然なことだと思う。くるしいときなど、さみしいときなど、話しをできる人が必要で、大切な人だと思う。まわりの人達とのつながりや出会いを大切に日々をくらしと思う。
オープニングの演奏は、とても良かったです。これからも集まりの中に音楽をとりいれてほしい。
いい講演、ありがとうございました。(60代 女性)
- * 講演、とても感動しました。今日は参加でき貴重な時間を送ることができました。ありがとうございました。
(60代 女性)
- * 元ちゃんハウスの取り組みに感銘しました。金沢に行つて見学もできれば幸いです…
オープニングの鶴岡東高校吹奏楽部の演奏もとても良かったです。(60代 女性)
- * 再度、検診の大事な事感じました。(70歳以上 女性)
- * 鶴岡東高校吹奏楽部の演奏に元気が出た。(40代 男性)
- * 人間、居場所があり共有できることはすばらしいと思いました。(60代 女性)
- * とても充実した内容でした。Cancer Gift (40代 女性)

- ✳ 鶴岡東高等学校吹奏楽部、すばらしかった。久しぶりにこのような吹奏楽を聞かせていただき、幸せでした。
(60代 女性)
- ✳ 庄内地区にもぜひ緩和ケア外来、入院施設を開設してもらいたい。(50代 女性)
- ✳ とても良い話を聴けました。これからに活かしたいです。(20歳未満 女性)
- ✳ 元ちゃんハウスのようなところを身近に作ってほしいです。(50代 女性)
- ✳ 看護を提供することになる身として、とても大きな学びになりました。(20代 女性)
- ✳ 嫁ぎ先、実家共に両親を亡くしております。年齢的に(60代)もう少し早く色々な緩和ケアを知る機会があると良いと思います。
鶴岡東高等学校吹奏楽部の生演奏すばらしかった。生演奏は久しぶりなので本当に今日の青空のごとく、すがすがしい気分です。(60代 女性)
- ✳ 死までの病状の経過が知りたい。(60代 女性)
- ✳ 鶴岡にもマギーズハウスのような施設が欲しいものですね。(60代 女性)
- ✳ 鶴岡東高校の吹奏楽部は大変良かった。(70代 女性)
- ✳ 初めての講座でしたが、誰にでもおこりうる事で、とても勉強になりました。残りの人生、良く考えて生きたいと思います。(60代 女性)
- ✳ 毎回参加しますが、まさか今日場で東高の演奏がきけるとは、思いもしませんでした。
鈴木先生の緩和ケアのお話、わかりやすかったです。病気になっても安心しました。
西村先生の話を書いて、小さくても鶴岡にほしい。(70歳以上 女性)

今後、緩和ケア市民公開講座で取り上げてほしいテーマ、要望

- ★ グリーフケア
夫の亡くなった半月後に、奥さんを亡くされた方と最近、偶然に会うことができた。その方と時間を忘れる位、お互いのことを語り合えた。とてもいい時間だった。亡くした悲しみ、闘病時の切なさ等々、同じ気持ちを持っていた。
がん患者のみではなく、家族、遺族支援について元ちゃんハウスのような、何かあればと思う。(50代 女性)
- ★ 末期がんの人への声のかけ方。メンタルケア。(50代 女性)
- ★ 「ひとり暮らしの最期」(緩和ケアを受けながら)をテーマにしてほしい。(70歳以上 女性)
- ★ 8050問題で生活の苦しい世帯の親達は、子を残して最期を迎えます。いつか残された子(40代~50代)ががんになりどうなってしまうか心配も多いと思います。今、生きているうちから子世代へ伝えておくべきことや伝え方を学べる内容がいいです。(介護の利用も含めケアの形)(40代 女性)
- ★ がんの内容をくわしく知りたかった。特に大腸がんの内容を知りたかった。(60代 男性)
- ★ 病名によっての食生活の事についての話。薄味はわかっているのですが、もっと内容、これは病名によってだめだとか、これは良いとか悪いとか、どうして良いのか悪いのか、くわしい事知りたいです。親から病は口からと言われたので頭にあります。(60代 女性)

